

野毛山動物園で発生したアカエリマキキツネザルの腸炎についての報告

Report on enteritis of the red ruffed lemur that occurred at Nogeyama Zoo

百武真梨子¹, 小野香織¹, 松井桐人¹, 山口恵, 山田晃代¹, 川寄立太¹

Mariko Hyakutake, Kaori Ono, Kirito Matsui, Megumi Yamaguchi, Akiyo Yamada, Ryuta Kawasaki

¹野毛山動物園

要約

野毛山動物園において、アカエリマキキツネザルが 2021 年 1 月 1 日に 2 頭, 1 月 2 日に 1 頭, 1 月 3 日に 1 頭と 3 日間で 4 頭死亡した。展示場内に粘液便が見られたことと死亡個体 2 頭では解剖時肉眼で腸管に炎症を認めたため、感染性腸炎の可能性を考慮し同居個体を入院させ個飼いで飼育を行い、状態の確認・検査・治療を行った。また、死亡した個体は園内での解剖後、病理組織検査を行った。

入院させた 10 頭について、治療後徐々に便状が回復し、状態も安定したため 3 月 1 日に退院させた。

今回このアカエリマキキツネザルの入院・治療の経過と病理組織検査及び臨床検査結果について報告する。